

上田市教育委員会 9月定例会会議録

1 日 時

平成25年9月25日(水) 午後2時40分から午後3時50分まで

2 場 所

上田市教育委員会(やぐら下庁舎) 2階会議室

3 出席者

委 員

委 員 長	西田 不折
委員長職務代理者	城下 敦子
委 員	小市 正輝
委 員	山崎 順子
教 育 長	小山 壽一

説 明 員

浪方教育参事、齋藤教育総務課長、倉島学校教育課長、小山人権同和教育政策幹、土屋文化振興課長、佐藤スポーツ推進課長、水野丸子地域教育事務所長、柳沢真田地域教育事務所長、児玉武石地域教育事務所長、矢島丸子学校給食センター所長、倉澤博物館長、樋口上野が丘公民館長、綿内川西公民館長

傍 聴 者 1名 (報道機関)

1 あいさつ

2 協議事項

(1) 上田市立美術館組織規則制定について(文化振興課)

資料1により土屋文化振興課長説明

小市委員

来年度、平成26年10月開館に向けて準備に取り組むための規則制定であるとのことだが、26年度に開館した場合にこの規則は継続されるのか、それとも、それまでの期間限定であり、また新たに規則が制定されるのか。

土屋文化振興課長

この規則は開館に向けた準備行為を行うためのものであり、開館後については、上田市教育委員会組織規則の中に必要な事項が定められることになる。

城下委員

「組織体制の整備、補助執行」の項では、教育委員会から市長部局に補助執行することにより、市長部局においてホールとともに一体的に管理運営を行うこととするとあるが、どういった点についてどう行うのかという具体的なイメージについて説明がほしい。

土屋文化振興課長

上田市交流文化芸術センターには館長が配置され、その館長の下に美術館長やホール責任者が配置され、交流文化芸術センター館長が全体を統括する。また、美術館は登録美術館という形をとらないと信用度が落ちてしまうため、教育委員会に属する組織及び施設でなければならず、補助執行という手段によって市長部局が事務を代行することになる。

この施設は、ホールと美術館が物理的にも一体の場所にあり、別々の組織が運営することは難しく、ホールとともに一体的に管理運営することになる。

西田委員長

一体的な管理運営という具体的なイメージが湧かない。

土屋文化振興課長

美術館事業とホールで行う事業は別々のものになるが、場合によってはコラボする事業もある。事業を一体としてやることもあるが、主には職員管理や建物を含めた管理体制について一体的に運営していくことである。

西田委員長

実際に開館して企画運営されるといろいろなケースが出てくる。一体的な管理運営とは職員の内部的な管理ではなく、館全体のバランスをとりどういう催しをどうやるか、市民の要求にどう応えるかといった意味での一体的な管理運営であってほしい。市長部局に補助執行して運営してもらうことにはプラス面とマイナス面があるだろうが、市民の期待にどう応えるかという組織でなければならない。

全委員 了承

3 報告事項

(1) 平成25年度 夏休み上野が丘わいわい塾実績報告(上野が丘公民館)

資料2により樋口上野が丘公民館長説明

小市委員

子どもたちが自主的に学ぶ機会をつくることができてよかった。中高校生のボランティア8名は、この経験によりやがて大きくなり、またボランティアに来てくれるのではないかと期待が持てる。

今、社会性を育てるということが重要視されているが、この経験により子どもたちが育ってくるのではないか。他者を認めることによって、また自分が認められるという関係ができていると思う。

また、おやつをみんなで食べた写真が載っているが、グループの全員の顔が内側を向いて食べており、これはとても素晴らしいことである。最近は集まって座っても、みんなが外側を向いて写る。この子どもたちは、みんなが中を向いてグループを意識しているが、これはとても大事なことである。

城下委員

今年は第2回ということで参加者が94名とあるが、去年の参加者は何名だったか。

樋口上野が丘公民館長

55名である。

城下委員

参加者の中に手をスライサーで切ってしまった子がいたということだが、何かあったときの保険はどうしているのか。

樋口上野が丘公民館長

公民館行事であるので、公民館保険の範囲ということになる。その点については、申し込みの際に保護者に周知し同意のうえ参加してもらっている。

城下委員

市民の森の野外活動でのアルミ缶を使ったサバイバルメシ炊きや、森林空間を利用したクイズ形式のオリエンテーリングなどは、指導者を招いているのか。

樋口上野が丘公民館長

サバイバルメシ炊きは市の社会教育指導員によるものであり、オリエンテーリングについてはスポーツ指導員が現場で調査等の下準備を行いオリジナルクイズをつくってもらった。

城下委員

川西公民館でも行われているが、とても素晴らしい事業である。すぐにそういった公民館

の数がふえるとは思わないが、ぜひ水平展開してもらいたい。どこかに旗を振る人がいないと展開していかないと思うが何か考えてほしい。仕掛人がいて、公民館を回り地域に知ってもらえるようなプロジェクトが少しずつできあがっていけば水平展開していくのではないかな。アンケートにもあるように、「とても楽しかった」「ありがたかった」と思えるような事業を多くの子どもや保護者が経験できればよい。

山崎委員

地域のボランティアが大勢参加して子どもたちを支えてくれていることがよくわかった。ボランティアがいたからこそであり、ボランティアへのフォローとして、子どもたちがこんなことを思い感じていたということのフィードバックがあるとよい。

また、保護者の意識向上ということは難しいところである。保護者も子どもたちと一緒に何か活動するような場面が少しでもあると、ボランティアが愛情をもって接し、どんな意図をもってこの行事を行っているのかということが感じられるのではないかな。

西田委員長

良い実績をほかでもできるように、ノウハウの蓄積に努めていただきたい。

全委員 了承

(2) 第17回上田城跡能結果報告(文化振興課)

資料3により土屋文化振興課長説明

全委員 了承

(3) 第17回うえだ城下町映画祭の開催について(文化振興課)

資料4により土屋文化振興課長説明

全委員 了承

(4) スポーツ関係市長表敬訪問者報告(スポーツ推進課)

資料5により佐藤スポーツ推進課長説明

全委員 了承

(5) 行事共催等申請状況について

(教育総務課・学校教育課・生涯学習課・文化振興課・スポーツ推進課)

資料6 - により齋藤教育総務課長説明

全委員 了承

資料6 - により倉島学校教育課長説明

全委員 了承

資料6 - により浅野生涯学習課長説明

全委員 了承

資料6 - により土屋文化振興課長説明

全委員 了承

資料6 - により佐藤スポーツ推進課長説明

西田委員長

第1回目となる児童育成「夢カップ」バレーボール大会は、どの程度の参加者を見込んでいるか。

佐藤スポーツ推進課長

まったく初めての取り組みであり、当てがあるわけではないため最初はチームが少ないかと思うが、各育成会に呼び掛け、まずはスタートとしてやっていきたい。

城下委員

東京オリンピックが決まり、上田市からもオリンピック選手が出るとよい。子どもたちに夢や希望を与えられるような事業を考えていただきたい。

佐藤スポーツ推進課長

2020年東京オリンピックという目標ができたので、そのことに向けて具体的な事業ができればと思っている。

全委員 了承

4 その他

- ・綿内川西公民館長より公民館だよりの説明
- ・倉澤博物館長より国分寺企画展の説明

全委員 了承

閉会